

減災対策協議会の取組について

(2) 取組方針のフォローアップ

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)	
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応			
	実施内容（変更案）	達成目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容		
1	姫川の洗掘状況の把握・理解	R6	○	継続 出水時における姫川の洗掘の状況及びメカニズムについては、未だ完全に解明されていないため、引き続きモニタリングを実施する。 ・継続して調査を実施中													継続	
2		R7	○	継続 出水時における姫川の洗掘の状況及びメカニズムについては、未だ完全に解明されていないため、引き続きモニタリングを実施する。 ・継続して調査を実施中													継続	
3	水位・気象情報等の情報発信	R6	○	継続 継続して情報発信を行った。引き続き、洪水時の市長による避難指示等発令の判断を支援するため、今後も継続して、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。 ・継続	○	継続 ・早期注意情報(警報級の可能性)の提供、警報等発表時の危険度の色分けによる警戒期間と予測の提供を引き続き継続する。 ・気象情報の充実、予測精度の向上(線状降水帯の予測精度向上等)に向けた取り組み強化)	○	継続 ・継続して情報発信を行った。	○	継続 継続して情報発信を行った。	○	継続 継続して情報発信を実施した。	○	継続 継続して情報発信を実施した。	○	継続 継続して情報発信を実施した。	○	継続 継続して情報発信を実施した。
4		R7	○	継続 継続して情報発信を行った。引き続き、洪水時の市長による避難指示等発令の判断を支援するため、今後も継続して、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。	○	継続 ・早期注意情報(警報級の可能性)の提供、警報等発表時の危険度の色分けによる警戒期間と予測の提供を引き続き継続する。 ・気象情報の充実、予測精度の向上(線状降水帯の予測精度向上等)に向けた取り組み強化)	○	継続 ・継続して情報発信を行った。	○	継続 継続して情報発信を行った。	○	継続 収集した情報を迅速に発信するよう取り組んだ。	○	継続 継続して情報発信を実施した。	○	継続 継続して情報発信を実施した。	○	継続 継続して情報発信を実施した。
5	防災情報の更なる普及のための周知・広報	R6										○	継続 引き続き、防災関連情報を広報上越等へ掲載し、防災情報の周知・普及を図った。	○	継続 出前講座や防災リーダー研修を開催した。広報紙等で必要な情報提供を行った。	○	継続 水害などにより避難所を開設する場合に備え、避難所開設運営研修を実施したほか、防災関連情報を市報に掲載し、防災情報の周知・普及を図った。	継続
6		R7										○	継続 防災関連情報を広報上越等へ掲載し、防災情報の周知・普及を図った。	○	継続 出前講座や防災リーダー研修を開催した。広報紙等で必要な情報提供を行った。	○	継続 水害などにより避難所を開設する場合に備え、避難所開設運営研修を実施したほか、防災関連情報を市報に掲載し、防災情報の周知・普及を図った。	継続

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
	実施内容（変更案）	達成目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	
7	水防連絡会、情報伝達訓練の実施	R6	○ 継続	継続して水防連絡会、情報伝達訓練を実施した。引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援するため、今後も継続していく。 ・継続	○ 継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も、情報伝達訓練に参画する。 ・【R6.5.15】洪水対応演習を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○ 継続	関川姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を実施した。洪水対応演習にて、国・県・市共同の情報伝達訓練を実施した。	○ 継続	関川姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を実施した。洪水対応演習にて、国・県・市共同の情報伝達訓練を実施した。	○ 継続	洪水対応演習にて、関係機関との情報伝達訓練を実施した。	継続
8		R7	○ 継続	継続して水防連絡会、情報伝達訓練を実施した。引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援するため、今後も継続していく。 ・継続	○ 継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も、情報伝達訓練に参画する。 ・【R7.5.9】洪水対応演習を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○ 継続	関川姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を実施した。洪水対応演習にて、国・県・市共同の情報伝達訓練を実施した。	○ 継続	関川姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を実施した。洪水対応演習にて、国・県・市共同の情報伝達訓練を実施した。	○ 継続	洪水対応演習にて、関係機関との情報伝達訓練を実施した。	継続
9	洪水時における自治体への情報伝達(ホットライン)の確立及び実施	R6	○ 継続	水防連絡会の開催と情報伝達演習等を実施。引き続き取り組んでいく。 ・継続	○ 継続	情報伝達演習等、関係機関と情報共有を図りながら取り組んでいく。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○ 継続	国・県とホットラインを構築済み。引き続き強化していく。	○ 継続	国・県とホットラインを構築済み。	○ 継続	国・県とホットラインを構築済み。	継続
10		R6	○ 継続	水防連絡会の開催と情報伝達演習等を実施。引き続き取り組んでいく。 ・継続	○ 継続	情報伝達演習等、関係機関と情報共有を図りながら取り組んでいく。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○ 継続	構築済みの国・県のホットラインについて、連携を強化を図った。	○ 継続	国・県とホットラインを構築済み。	○ 継続	国・県とホットラインを構築済み。	継続
11	水害タイムラインの検討・作成	R6	○ 継続	関川・姫川流域タイムラインの実運用を行った。実際に発動する状況にはならなかったが、関係機関への情報共有を行った。引き続き検討及び情報共有を行う。 ・継続	○ 継続	引き続き実施するものとする。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○ 継続	・検討中	○ 継続	・検討中(一部文言の見直しは実施)	○ 継続	引き続き実施していく。	○ 継続	確認・点検を実施した。	○ 継続	引き続き実施していく。	継続
12		R7	○ 継続	関川・姫川流域タイムラインの実運用を行った。令和7年8月11日に1回発動し、関係機関への情報共有を行った。引き続き検討及び情報共有を行う。 ・継続	○ 継続	引き続き実施するものとする。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○ 継続	・保倉川の水害タイムラインを作成し上越市と共有した。	○ 継続	・検討中(一部文言の見直しは実施)	○ 継続	作成済みの水害タイムラインについて検討を実施した。	○ 継続	確認・点検を実施した。	○ 継続	引き続き実施していく。	継続
13	水位周知河川の検討及び指定	R6	○ 継続	支援要請実績はなかったが、今後も要請があれば支援する。 ・継続	○ 継続	・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○ 継続	・儀明川の指定については、引き続き検討中。(試行は当面休止)			○ 継続	支援を継続して実施していく。			○ 継続	・中小河川における水位計設置について、継続して県に要望していく。	継続
14		R7	○ 継続	支援要請実績はなかったが、今後も要請があれば支援する。 ・継続	○ 継続	・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○ 継続	・儀明川の指定については、引き続き検討中。(試行は当面休止)			○ 継続	引き続き実施していく。			○ 継続	・中小河川における水位計設置について、継続して県に要望していく。	継続

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
	実施内容（変更案）	達成目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	
15	水位周知河川の指定状況に関する情報共有	R6	○ 継続	情報共有するような案件は無かったが、引き続き必要に応じて周知を行う。 ・継続	○ 継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認。	○ 継続	協議会において確認した。	○ 継続	協議会において確認した。対外的にはHPIにより水位等の河川情報の提供を行ってきた。	○ 継続	引き続き実施していく。	○ 継続	協議会において水害危険性の周知状況を確認した。	○ 継続	協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。	継続
16		R7	○ 継続	情報共有するような案件は無かったが、引き続き必要に応じて周知を行う。 ・継続	○ 継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認。	○ 継続	協議会において確認した。	○ 継続	協議会において確認した。対外的にはHPIにより水位等の河川情報の提供を行ってきた。	○ 継続	引き続き実施していく。	○ 継続	協議会において水害危険性の周知状況を確認した。	○ 継続	協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。	
17	水位予測の検討及び精度の向上	R6	○ 継続	情報共有するような案件は無かったが、引き続き必要に応じて周知を行う。 ・継続			○ 継続	引き続き、洪水警報の危険度分布を活用、検証していく。	○ 継続	出水期にはキキクル(危険度分布)を活用した。							継続
18		R7	○ 継続	令和7年8月11日の流域タイムライン発動時に関係機関へ水位予測の共有を随時行った。			○ 継続	引き続き、洪水警報の危険度分布を活用、検証していく。	○ 継続	出水期にはキキクル(危険度分布)を活用した。							
19	要配慮者における避難確保計画の作成・支援	R6	○ 継続	避難確保計画作成の支援要請は無かったが、引き続き要請があれば支援を行う。 ・継続			○ 継続	今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。	○ 継続	今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。	○ 継続	避難確保計画未策定の施設等に対し、作成の推進に向けた働きかけを実施した。	○ 継続	避難確保計画未策定の施設等に対し、作成の推進に向けた働きかけを実施した。	○ 継続	新たに中小河川における浸水想定区域が指定されたことに伴い、追加となった要配慮者利用施設に対して周知するとともに、避難確保計画作成の働きかけを行った。また、福祉部局や教育部局とも連携し、避難確保計画の見直し・修正に当たり必要な支援を実施した。	継続
20		R7	○ 継続	避難確保計画作成の支援要請は無かったが、引き続き要請があれば支援を行う。 ・継続			○ 継続	今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。	○ 継続	今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。	○ 継続	避難確保計画未策定の施設等に対し、作成の推進に向けた働きかけを実施した。	○ 継続	避難確保計画未策定の施設等に対し、作成の推進に向けた働きかけを実施した。	○ 継続	新たに中小河川における浸水想定区域が指定されたことに伴い、追加となった要配慮者利用施設に対して周知するとともに、避難確保計画作成の働きかけを行った。また、福祉部局や教育部局とも連携し、避難確保計画の見直し・修正に当たり必要な支援を実施した。	
21	想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	R6					○ 継続	関川の県管理区間および支川36河川について公表済み。									完了
22		R7					×	完了	関川の県管理区間および支川43河川について公表済み。								

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)	
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応			
	実施内容（変更案）	達成 目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容		
23	想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップの改良・周知	R6																継続
24		R7																
25	先進事例等を踏まえた分かりやすい洪水ハザードマップの改良	R6	○	継続	水害リスクマップと多段階の浸水想定図を公表済。必要に応じて、わかりやすい資料の作成を検討する。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	継続
26		R7	○	継続	水害リスクマップと多段階の浸水想定図を公表済。必要に応じて、わかりやすい資料の作成を検討する。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	
27	まるごとまちごとハザードマップの整備	R6	○	継続	取り組みへの支援等は無かったが、引き続き取り組みに必要な情報提供等支援を行う。 ・継続			引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	継続
28		R7	○	継続	取り組みへの支援等は無かったが、引き続き取り組みに必要な情報提供等支援を行う。 ・継続			引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	
29	マイタイムライン作成の普及促進・支援	R6	○	継続	出前講座や総合学習支援の中で、講習、逃げキットの紹介・配布等を実施。引き続き取り組んで行く。 ・継続			・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○	継続	出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○	継続	マイタイムラインの普及はまだ十分ではないと考えられるため、引き続き広報等での周知や、啓発チラシ配布等を行う。 ・町内会長を始めとする地域の防災リーダーへの研修会を通して、マイタイムラインの作成を促すとともに、引き続き広報等で周知を図っていく。	○	継続	出前講座等で、家庭や地域での避難行動を考えておくタイムラインの作成について周知を行った。	継続
30		R7	○	継続	出前講座や総合学習支援の中で、講習、逃げキットの紹介・配布等を実施。引き続き取り組んで行く。 ・継続			・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○	継続	出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○	継続	町内会長を始めとする地域の防災リーダーへの研修会を通して、マイタイムラインの作成を促すとともに、広報等での周知や、啓発チラシ配布等を実施した。	○	継続	出前講座等で、家庭や地域での避難行動を考えておくタイムラインの作成について周知を行った。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)			
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応					
	実施内容（変更案）	達成 目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容				
31	重要水防箇所の共同点検の定期的な実施	R6	○ 継続	出水期前における重要水防箇所の共同点検を実施。有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続				○ 継続	・出水期前における重要水防箇所の共同点検等を実施。				○ 継続	出水期前における重要水防箇所の共同点検等を実施した。				○ 継続	出水期前における重要水防箇所の共同点検等を実施した。	継続
32		R7	○ 継続	出水期前における重要水防箇所の共同点検を実施。有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続				○ 継続	・出水期前における重要水防箇所の共同点検等を実施。				○ 継続	出水期前における重要水防箇所の共同点検等を実施した。				○ 継続	出水期前における重要水防箇所の共同点検等を実施した。	
33	自主防災のあり方・役割の啓発	R6										○ 継続	ビラの配布、ホームページや広報紙への掲載、職員等による防災講話による啓発を行った。	○ 継続	地域防災力の維持・向上のため、自主防災組織と連携した避難訓練等を実施した。			○ 継続	地域防災力の向上のため、自主防災組織や消防団とも連携した防災訓練等を実施した。	継続
34		R7										○ 継続	ビラの配布、ホームページや広報紙への掲載、職員等による防災講話による啓発を行った。	○ 継続	地域防災力の維持・向上のため、自主防災組織と連携した避難訓練、出前講座等を実施した。			○ 継続	地域防災力の向上のため、自主防災組織や消防団とも連携した防災訓練等を実施した。	
35	実践的な研修・訓練の実施	R6										○ 継続	避難所運営訓練やハザードマップを活用した、防災リーダー研修を実施した。町内会に対する資機材補助制度を創設し、避難体制の強化と訓練の実行性を高めた。	○ 継続	外部講師を招聘し、避難所運営をテーマに防災リーダー研修を実施した。			○ 継続	外部講師を招聘して、自主防災組織や防災士、施設管理者、市職員を対象とした避難所運営訓練等を実施した。	継続
36		R7										○ 継続	避難所運営訓練やハザードマップを活用した、防災リーダー研修や町内会に対する資機材補助制度を活用し、避難体制の強化と訓練の実行性を高めた。	○ 継続	外部講師を招聘し、事前防災をテーマに防災リーダー研修を実施した。			○ 継続	外部講師を招聘して、自主防災組織や防災士、施設管理者、市職員を対象とした避難所運営訓練等を実施した。	
37	自主防災組織の設立支援・防災士の養成	R6	○ 継続	支援要請は無かったが、引き続き要望に応じて支援を行う。 ・継続								○ 継続	防災士養成講座において、女性及び若年層に対する補助を実施し、防災活動への参画を図った。防災士資格取得者へのスキルアップ研修を実施した。	○ 継続	防災士資格取得に対し、助成制度を設け支援を行った。			○ 継続	資格取得に対する補助及び、消防団特例を活用し、防災士の育成を行った。	継続
38		R7	○ 継続	支援要請は無かったが、引き続き要望に応じて支援を行う。 ・継続								○ 継続	防災士養成講座において、女性及び若年層に対する補助を実施し、防災活動への参画を図った。また、防災士資格取得者へのスキルアップ研修を実施した。	○ 継続	防災士資格取得に対し、市助成制度により支援を行った。			○ 継続	資格取得に対する補助及び、消防団特例を活用し、防災士の育成を行った。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
	実施内容（変更案）	達成目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	
39	水防連絡会、情報伝達訓練の定期的な実施	R6	○ 継続	継続して水防連絡会の開催、情報伝達演習等を実施した。出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続	○ 継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も継続して、情報伝達訓練に参画する。 ・【R6.5.15】洪水対応演習を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○ 継続	連絡体制の確認や情報伝達訓練を引き続き実施した。	○ 継続	連絡体制の確認や情報伝達訓練を引き続き実施した。	○ 継続	連絡体制の確認や情報伝達訓練を引き続き実施した。	継続
40		R7	○ 継続	継続して水防連絡会の開催、情報伝達演習等を実施した。出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続	○ 継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も継続して、情報伝達訓練に参画する。 ・【R7.5.9】洪水対応演習を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○ 継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○ 継続	連絡体制の確認や情報伝達訓練を実施した。	○ 継続	連絡体制の確認や情報伝達訓練を実施した。	○ 継続	連絡体制の確認や情報伝達訓練を引き続き実施した。	
41	避難訓練の実施及び実施状況の情報共有	R6			○ 継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村支援を引き続き実施する。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施					○ 継続	市が委嘱する防災アドバイザーの派遣や防災リーダー研修などを通じて、自主防災組織や町内会における防災体制を整えとともに、訓練等の重要性について説明した。	○ 継続	全市一斉での防災訓練を実施し、地区での避難行動の確認や避難所設置などを行った。	○ 継続	訓練未実施の自主防災組織もあったことから、訓練の重要性を説明し、実施を働きかけた。	継続
42		R7			○ 継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村支援を引き続き実施する。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施					○ 継続	市が委嘱する防災アドバイザーの派遣や防災リーダー研修などを通じて、自主防災組織や町内会における防災体制を整えとともに、訓練等の重要性について説明した。	○ 継続	全市一斉での防災訓練を実施し、地区での避難行動の確認や避難所設置などを行った。	○ 継続	訓練未実施の自主防災組織もあったことから、訓練の重要性を説明し、実施を働きかけた。	
43	水災害教育の継続的な実施	R6	○ 継続	有識者を招いた水災害教育を実施した。また、流域治水の自分事か取組を作成した。引き続き取り組んでいく。 ・継続	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため自治体の要請に応じた支援体制を維持する。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○ 継続	・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○ 継続	小学校や高校に出前講座を実施し、防災意識の向上を図った。	○ 継続	・小中学校等で避難訓練を実施。河川付近の学校で、水害想定避難訓練等を実施。	○ 継続	小学校において、防災に関する講話を実施した。	○ 継続	小中学校において、防災に関する講話を実施した。	継続
44		R7	○ 継続	有識者を招いた水災害教育を実施した。また、流域治水の自分事か取組を作成した。引き続き取り組んでいく。 ・継続	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため自治体の要請に応じた支援体制を維持する。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○ 継続	・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○ 継続	小学校や高校に出前講座を実施し、防災意識の向上を図った。	○ 継続	・小中学校等で避難訓練を実施。河川付近の学校で、水害想定避難訓練等を実施。	○ 継続	小中高等学校において、防災に関する出前講座を実施した。	○ 継続	小中学校において、防災に関する講話を実施した。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
	実施内容（変更案）	達成目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	
45	出前講座等の説明会の継続的な開催	R6	○ 継続	水災害等に関する出前講座を実施した。引き続き取り組んで行く。 ・継続	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、出前講座等の要請に対応する。 ・出前講座等の機会に水防災に関する防災気象情報を説明した。	○ 継続	・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○ 継続	小学校や高校に出前講座を実施し、防災意識の向上を図った。	○ 継続	・外部機関等からの要請に応じ出前講座等を実施した。	○ 継続	学校、自治会、各種団体からの要請に応じ、出前講座を実施した。	○ 継続	自主防災組織からの要請に基づき、防災士や市職員を派遣した。	継続
46		R7	○ 継続	水災害等に関する出前講座を実施した。引き続き取り組んで行く。 ・継続	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、出前講座等の要請に対応する。 ・出前講座等の機会に水防災に関する防災気象情報を説明した。	○ 継続	・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○ 継続	小学校や高校に出前講座を実施し、防災意識の向上を図った。	○ 継続	・小学校などからの要請に応じ、水害や土砂災害に関する防災教育を実施した。	○ 継続	自治会、各種団体からの要請に応じ、出前講座を実施した。	○ 継続	自主防災組織からの要請に基づき、防災士や市職員を派遣した。	
47	広報資料の作成、配布	R6	○ 継続	出前講座や総合学習支援等において資料を配布。水防災意識社会の普及啓発のため、引き続き取り組んで行く。 ・継続	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、広報資料等の配布を継続する。 ・水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用 ・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施	○ 継続	・引き続き、取り組んで行く。	○ 継続	道の駅など、人が集まる場所への啓発チラシの配布を継続して行った。	○ 継続	・広報誌やチラシによる住民周知や、ハザードマップの配布など、広報活動を実施した。	○ 継続	ハザードマップの配布や市広報紙へ防災に関する記事を掲載した。	○ 継続	市報において、防災に関する特集記事を掲載した。	継続
48		R7	○ 継続	出前講座や総合学習支援等において資料を配布。水防災意識社会の普及啓発のため、引き続き取り組んで行く。 ・継続	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、広報資料等の配布を継続する。 ・水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用 ・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施	○ 継続	・引き続き、取り組んで行く。	○ 継続	道の駅など、人が集まる場所への啓発チラシの配布を継続して行った。	○ 継続	・広報誌やチラシによる住民周知や、ハザードマップの配布など、広報活動を実施した。	○ 継続	ハザードマップの配布や市広報紙へ防災に関する記事を掲載した。	○ 継続	市報において、防災に関する特集記事を掲載した。	
49	河道掘削、急流河川対策、河道拡幅、築堤等の実施	R6	○ 継続	・姫川の堤防侵食対策の実施 ・関川の維持掘削を継続実施				○ 継続	引き続き、実施していく。	○ 継続	河道掘削及び伐木を継続実施。						継続
50		R7	○ 継続	・姫川の堤防侵食対策の実施 ・関川の維持掘削を継続実施				○ 継続	引き続き、実施していく。	○ 継続	河道掘削及び伐木を継続実施。						
51	堤防天端の保護、堤防裏法尻等の補強等の実施	R6						○ 継続	引き続き、実施していく。	○ 継続	R6は実績なし。						継続
52		R7						○ 継続	引き続き、実施していく。	○ 継続	R7は実績なし。						
53	河川防災ステーション等の検討・整備	R6	○ 継続	引き続き、調整していく。 ・継続				○ 継続	引き続き、検討していく。	× 完了	ブロックヤードを整備し、ブロックを備蓄した。	○ 継続	引き続き検討していく。	○ 継続	引き続き検討していく。	○ 継続	継続
54		R7	○ 継続	引き続き、調整していく。 ・継続				○ 継続	引き続き、実施していく。	○ 継続	ブロックヤードを整備し、ブロックを備蓄した。	○ 継続	引き続き検討していく。	○ 継続	引き続き検討していく。	○ 継続	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)	
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応			
	実施内容（変更案）	達成目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容		
55	立ち退き避難が必要な区域・避難方法の検討、垂直避難等、柔軟な避難方法の検討	R6										引き続き検討していく。		早期の避難行動、垂直避難等避難方法を出前講座等で周知した。		垂直避難や早期の避難行動の実施など、必要な情報を市報などで周知した。	継続	
56		R7										引き続き検討していく。		早期の避難行動、垂直避難等避難方法を出前講座等で周知した。		垂直避難や早期の避難行動の実施など、必要な情報を市報などで周知した。		
57	重要水防箇所等の共同点検の定期的な実施	R6	○	継続				○	継続			○	継続			○	継続	継続
58		R7	○	継続				○	継続			○	継続			○	継続	
59	水防資機材の定期的な確認・整備	R6	○	継続				○	継続			○	継続			○	継続	継続
60		R7	○	継続				○	継続			○	継続			○	継続	
61	新技術を活用した水防資機材の検討・配備	R6	○	継続				○	継続									継続
62		R7	○	継続				○	継続									

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)								
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応										
	実施内容（変更案）	達成目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容									
63		R6	○	継続	関川において、多くの関係機関参加による水防実動訓練を実施した。 ・継続	○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。 ・水防実動訓練の参加実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	水防訓練に参加。	○	継続	出水期前における水防実動訓練を実施した。	○	継続	関川・姫川水防連絡会が主催する水防訓練に参加した。	○	継続	関川・姫川水防連絡会が主催する水防訓練に参加した。	継続	
64		R7	○	継続	姫川において、総合水防演習を実施した。 ・継続	○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。 ・水防実動訓練の参加実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	水防訓練に参加。	○	継続	出水期前における水防実動訓練を実施した。	○	継続	関川・姫川水防連絡会が主催する水防演習に参加した。	○	継続	関川・姫川水防連絡会が主催する水防訓練に参加した。	継続	
65		R6	○	継続	・水防訓練、水質事故対応訓練を実施した。水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続				○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	水防訓練に参加。	○	継続	引き続き実施を検討していく。	○	継続	水防訓練に参加した。	○	継続	消防団員を対象とした水防技術講習会を実施した。	継続	
66		R7	○	継続	・総合水防演習、水質事故対応訓練を実施した。水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続				○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	水防訓練に参加。	○	継続	引き続き実施を検討していく。	○	継続	水防訓練に参加した。	○	継続	消防団員を対象とした水防技術講習会を実施した。	継続	
67		R6	○	継続	定期的な排水訓練を実施するとともに、出水期前に災害対策車両運営受注者とともに出動想定箇所の現地確認を実施。 ・継続	○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。 ・排水実動訓練の参加実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	消防団において、排水ポンプの操作訓練を実施した。	○	継続	消防団において、排水にも活用可能な小型ポンプの操作訓練を実施した。	○	継続	消防団において、排水にも活用可能な小型ポンプの操作訓練を実施した。	継続	
68		R7	○	継続	定期的な排水訓練を実施するとともに、出水期前に災害対策車両運営受注者とともに出動想定箇所の現地確認を実施。 ・継続	○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。 ・排水実動訓練の参加実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	消防団において、排水ポンプの操作訓練を実施した。	○	継続	消防団において、排水にも活用可能な小型ポンプの操作訓練を実施した。	○	継続	消防団において、排水にも活用可能な小型ポンプの操作訓練を実施した。	継続	
69		R6											○	継続	商工会議所及び商工会を通じて、会員企業に対し、消防団協力事業所募集の案内を送付した。また、消防団協力事業所のホームページの更新を随時行った。	○	継続	水防活動の担い手として消防団員(水防団員)の募集活動を実施した。	○	継続	市報への消防団員募集記事の掲載など、団員確保に努めた。	○	継続	市報への消防団員募集記事の掲載など、団員確保に努めた。	継続
70		R7											○	継続	商工会議所及び商工会を通じて、会員企業に対し、消防団協力事業所募集の案内を送付した。また、消防団協力事業所のホームページの更新を随時行った。	○	継続	水防活動の担い手として消防団員(水防団員)の募集活動を継続して実施した。	○	継続	市報への消防団員募集記事の掲載など、団員確保に努めた。	○	継続	市報への消防団員募集記事の掲載など、団員確保に努めた。	継続
71		R6											○	継続	定期的な情報共有を実施していく。	○	継続	消防団との定期的な会議を開催し、意見交換及び情報共有に努めた。	○	継続	消防団との定期的な会議を開催し、意見交換及び情報共有に努めた。	○	継続	消防団との定期的な会議を開催し、意見交換及び情報共有に努めた。	継続
72		R7											○	継続	定期的な情報共有を実施した。	○	継続	消防団において、排水にも活用可能な小型ポンプの操作訓練を実施した。	○	継続	消防団との定期的な会議を開催し、意見交換及び情報共有に努めた。	○	継続	消防団との定期的な会議を開催し、意見交換及び情報共有に努めた。	継続

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)	
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応			
	実施内容（変更案）	達成目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容		
73	大規模工場等への啓発活動・支援	R6	○ 継続	支援の要請は無かったが、地域経済の持続は重要であるため、国として可能な情報提供・支援は継続していく。 ・継続		○ 継続	・引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き検討中		引き続き検討していく。		○ 継続	引き続き検討していく。		○ 継続	継続
74		R7	○ 継続	支援の要請は無かったが、地域経済の持続は重要であるため、国として可能な情報提供・支援は継続していく。 ・継続		○ 継続	・引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き検討中		引き続き検討していく。		○ 継続	引き続き検討していく。		○ 継続	継続
75	大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	R6				○ 継続	・引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き検討中		引き続き検討していく。		○ 継続	引き続き検討していく。		○ 継続	継続
76		R7				○ 継続	・引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き検討中		引き続き検討していく。		○ 継続	引き続き検討していく。		○ 継続	継続
77	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	R6	○ 継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続		○ 継続	引き続き、取り組んでいく。		○ 継続	引き続き取り組んでいく。		引き続き連絡体制を強化していく。		○ 継続	水防連絡会や洪水対応演習等に参加し連絡体制を確認した。		○ 継続	関川・姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を行った。
78		R7	○ 継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続		○ 継続	・引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き取り組んでいく。		連絡体制の強化を図った。		○ 継続	水防連絡会や洪水対応演習等に参加し連絡体制を確認した。		○ 継続	関川・姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を行った。
79	浸水被害軽減地区の指定の検討	R6	○ 継続	検討に必要な情報提供等を引き続き行う。 ・継続		○ 継続	引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き検討していく。		引き続き検討していく。		○ 継続	引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き、検討していく。
80		R7	○ 継続	検討に必要な情報提供等を引き続き行う。 ・継続		○ 継続	・引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き検討していく。		引き続き検討していく。		○ 継続	引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き、検討していく。
81	災害対応にあたる人材の育成	R6	○ 継続	各種災害研修への参加、訓練等を実施 ・継続		○ 継続	引き続き、取り組んでいく。		○ 継続	引き続き訓練・研修等を実施。		各種災害研修、訓練等を実施した。引き続き実施していく。		○ 継続	国や県が実施する訓練等に参加し、人材育成に努めた。		○ 継続	国や県が実施する訓練等に参加し、人材育成に努めた。
82		R7	○ 継続	各種災害研修への参加、訓練等を実施 ・継続		○ 継続	・引き続き、検討していく。		○ 継続	引き続き訓練・研修等を実施。		各種災害研修、訓練等を実施した。		○ 継続	国や県が実施する訓練等に参加し、人材育成に努めた。		○ 継続	国や県が実施する訓練等に参加し、人材育成に努めた。

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和7年2月段階の実施状況（R6進捗）
 ※下段：令和8年3月段階の実施状況（R7進捗）

No.	減災のための取組項目 (概ね5年間)		高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)	
	「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応			
	実施内容（変更案）	達成 目標	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容		
83	災害情報の共有体制の確立	R6	○	継続 流域タイムラインの実運用を行い、関係機関との調整を実施した。今後も運用訓練などを通じて災害情報体制の強化のための検討を進めていく。				○	継続 災害情報体制の強化を進めていく。			○	継続 引き続き検討中。			○	継続 引き続き実施していく。	継続
84		R7	○	継続 流域タイムラインの実運用を行い、関係機関との調整を実施した。今後も災害情報体制の強化のための検討を進めていく。 ・継続				○	継続 引き続き、検討していく。			○	継続 引き続き検討中。			○	継続 引き続き実施していく。	